

第3学年3組 道徳指導案

- 1 主題名 集団生活で生きる大切さ〔内容項目C-(15): 集団生活の充実〕 (1時間完了)
(資料名 「わき役の力」 出典: キラリ☆道徳 (正進社))

2 ねらい

集団生活を送る中で、その一員としての役割を考え、誇りをもって行動することの大切さに気づくことで、自分の存在価値や仲間の存在価値を認めつつ、集団の一員として充実した生活を送ろうとする意欲を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

中学生はアイデンティティーについて考え始める時期である。社会で積極的に生きていくために活発に生きることは自分に自信をもつことが必要である。また一方で集団の一員としてよりよく生きていくためには、各人が集団の一員としての役割と責任を自覚し、役割に応じた責任を果たしていくことが集団生活の向上につながる。本時の指導を通して自己の在り方を見つめるとともに、集団の一員としての自覚をもたせ、立場や状況に応じてどのように行動すべきかという道徳的な判断力を養うとともに、充実した集団生活を送ろうとする意欲を高めさせたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

中学3年生になり、卒業後の進路を真剣に考える生徒が増えてきている。その中で、社会で生きる自分の在り方について考え始めている生徒もいる。社会で自分はどう生きるのかということは集団生活の中でどう生きるかと同じである。中学校3年生のこの時期に自分に対する分析力を高めつつ、集団の中でそれをどう生かすかと考えることは、とても大切なことである。しかし、普段の学校生活や各行事等ではリーダーとして活躍する姿に偏りができてしまい、その他の生徒の学級を高めようという意識が低く感じられる。集団生活においては目立たなくても、各自が自分の役割をしっかりと果たすことが大切であるということに気づかせたい。本学級の生徒は、普段から意見を積極的に発言することができるので、今までの生活を振り返り、授業を通して自分自身と自分たちの学級をどうしていくかを高いレベルで考えられる生徒に育てたい。

(2) 抽出生徒について

①抽出生徒Aについて

しっかりとした自分の考えや思いをもっているが、それを強く表に出せない生徒である。昨年度は体育大会の応援コンクールで団長を経験し、中心となって行事に取り組んだが、思うような結果を得ることができなかった。しかし、野球部のレギュラーとして活躍できるようにと、練習のない日に走ったり、素振りをしたりして自分を伸ばそうという気持ちを強くもって努力している。また、思いやりがあり、誰に対しても笑顔で接し、級友からの信頼も厚い。そんな自分のよさに気づき、自分の行動に確かな自信をもてるようになれば大きく成長できる生徒である。自分の生活を振り返る中で、学級の中で役立っている自分に気づかせ、学級を高める一人として自分の判断に自信をもって行動しようとする気持ちを高めたい。

②抽出生徒Bについて

何事にも自分が中心にならないと気が済まない、思いどおりにしたい性格である。体育大会の応援コンクールでは団員との話し合いの時、団長の意見より自分のやりたいことを通そうと我を張る場面が多くみられた。周りの生徒がBに対する理解を示し、ある程度Bの意見を取り入れて工夫してやることでトラブルになることはなかったが、学級で対立するきっかけになりがちな生徒である。本時の指導を通して、中心になって行動する人の力だけで成り立つものではなく、多くの人がさまざまな役割を果たすことで成り立っていることを理解させたい。そして、自分自身は目立たなくても学級の向上に役立つ行動ができる自分の姿をイメージでき、そのイメージを大切にしながら行動する力を育てたい。

5 資料について

(1) 資料の概要

山田洋次監督が考えるわき役の力は、主役に注目させ、主役を自然に見せるところにある。また、映画をつくっているのは役者だけでなく、監督をはじめとする多くのスタッフでもある。役者の主役と同じように、監督もまた多くのスタッフに支えられ、その仕事の上に成り立っている。衣装スタッフが密かにしている苦勞を知ったとき、監督は胸をふるえるような感動を覚え、わき役たちこそが重要な主人公であると感じた。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

前半部分で、上手なわき役はどんな役者かを理解できるように、ワークシートに自分の考えを書かせてから中心発問につなげていく。また、資料にある「男はつらいよ」のワンシーンを映像で見せることによって、著者の考える上手なわき役とはどのような存在であるかを理解させる。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

学級でのわき役を考えると、主役に主眼を置いてしまう生徒が多く出た場合には、資料にある衣装スタッフの話をし、わき役についてももう一度考えさせるきっかけをつくる。また、抽出生徒Aの行ってきた行動を引き出すことで、目立たない仕事に注目させるようにする。

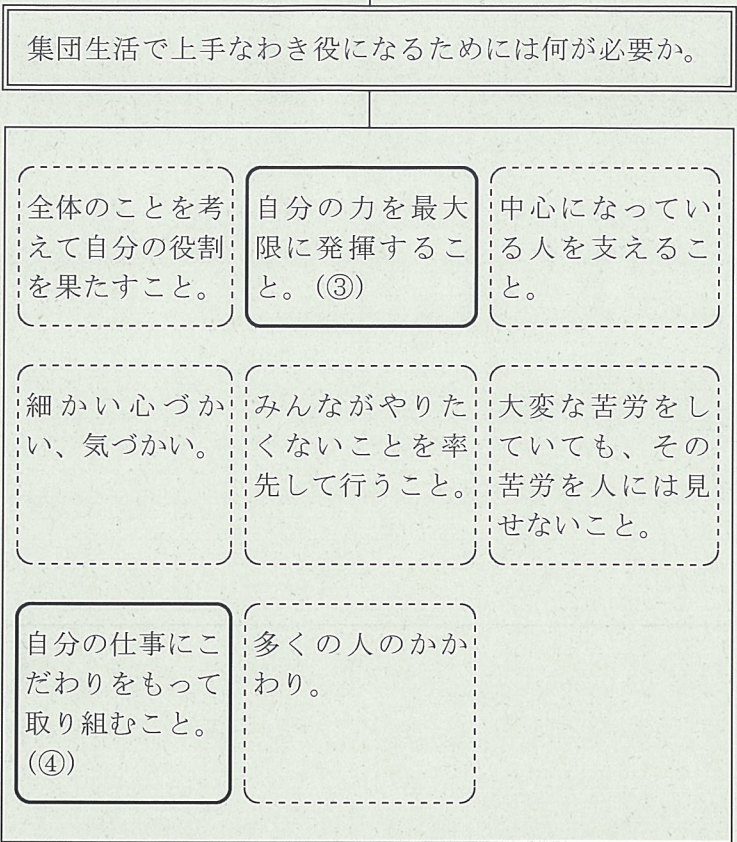
6 板書計画（ホワイトボードを使用）

<p>上手なわき役</p> <ul style="list-style-type: none">・ 主役を上手い役者にみせる。・ わき役の分を理解して演じる。	<p>学級でのわき役とは</p> <ul style="list-style-type: none">・ 学級庶務。・ 委員会の各委員。・ 言われなくても活動している人。	<p>集団生活でわき役になるために何が必要か。</p> <ul style="list-style-type: none">・ 全体の事を考えて自分の役割を果たす。・ 自分の力を最大限に発揮する。・ 自分の仕事にこだわりをもって取り組む。
--	---	---

※発問は電子黒板を使用して生徒に提示する。

7 本時の展開

時間	学習活動	※教師支援 ☆評価
15	<p>○資料の範読を聞く。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>上手なわき役、下手なわき役の違いは何か。</p> </div> <p>○話し合う。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">上手なわき役</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>主役をうまい役者にみせることができるわき役。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>わき役の分を理解して演じるわき役。</p> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">下手なわき役</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 5px;"> <p>自分の芝居を見せたいという、わがままなわき役。</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>全体のバランスを崩すわき役。</p> </div> </div> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>「男はつらいよ」の映像</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px auto; width: fit-content;"> <p>学級での「わき役」って何だろう。</p> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>庶務。級長を支える目立たない仕事をする。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>○○委員。朝や業後にも活動している。(①)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>○○係。学級の応援をせずに、自分の仕事に集中していた。</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>応援副団長。学級の子に踊りを教えるなど、団長を陰で支えていた。</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>合唱する全員。自分の役割を考えて歌っていた。(⑤)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>指揮者。合唱コンクールでの役割を果たしていた。(②)</p> </div> </div>	<p>※下手なわき役について問いかけることで上手なわき役との違いを明確にする。</p> <p>※わき役は目立なくても大変な努力によって主役を支えていることを理解させるために、資料にある衣装さんの行動について、質問して思い出させることで振り返る。</p> <p>※資料での上手なわき役の意味を理解させるために、「男はつらいよ」の多くのわき役が出ているワンシーンを見せる。</p> <p>※自分の役割を理解して行動している人が学級の力になっていることに気づかせるために、体育大会などの行事を振り返らせる。</p> <p>※目立たなくても集団の力になっている人がいることに気づくことができるように、普段の生活を振り返らせる。(①B:生かす)</p> <p>※個人の名前が挙がる場合は、人ではなく行動に着目させるようにする。</p> <p>※主役ととれる内容の場合は、学級でのわき役とは何かを考えさせるために、上手なわき役について振り返らせる。(②D:軌道修正する)</p>



※集団生活の向上のために多くの人の支えが必要であることに気づかせる。

※個人の力を高めることが集団生活の向上につながることに気づかせるために、学級で多くの生徒が活躍している場面を取り上げる。(③ **B:生かす**)

※自分の仕事にプライドをもって取り組むことが、学校生活だけでなく、社会で生きるためには必要であることに気づかせるために、わき役や衣装さんの話をもう一度確認して、働くことの意義を考えさせる。(④ **C:焦点化する**)

※主役に着目した意見が出てきた場合は、上手なわき役について確認し、わき役に焦点を絞るようにさせる。

40 ○学級の振り返り映像を見る。

— 振り返り映像 —
 体育大会、合唱コンクールなど、3組の学校生活の様子を3分にまとめたもの。学級全員の活動している姿を映し出し、映画のようなエンドロールを入れる。

※35人で学級を高め、自分が所属している3組を振り返ることで、よりよい集団をつくっていかうとする気持ちを高める。

※もし⑤の意見が出ていた場合は、ここで取り上げてほめる。(⑤ **B:認める**)

集団生活で向上した自分や学級の力を理解し、35人でつくっている学級の大切さ、そこで役立つ自分たちの意義を考えることで、社会に出ても自分の役割を果たそうとする姿。

☆学級の一員として、学級生活の向上につながる自分はどうあるべきかを考えることができたか。
 (発言、ワークシート)

授業の視点

- ① 資料の内容を理解させるために、映像を使用したのは著者の心情に迫り、共感するうえで有効であったか。
- ② ④Cにおける教師の出場や出方は生徒の思いを広げて、つないで学びを深め、ねらいに迫るうえで有効であったか。